

10月26日 市田柿の成熟状況

1 成熟の傾向

- 果実硬度の低下が平年より早い傾向であったが、10月以降の低温等により昨年並みとなっている。
- 果頂部の着色及び硬度は進んでいるが、へた部の着色は遅れている。
- 糖度は高い傾向である。
- 条紋の発生が多くなってきている。

2 収穫時期の判断

- へた部の着色を待っていると、果肉軟化が進み、機械による剥皮に適さなくなることが心配される。果実の弾力を確認しながら、収穫をすすめる。
- 樹冠外部と内部の果実の熟度差が大きいので、収穫開始の判断は成熟が早い樹冠外部の果実で行う。
- 条紋が発生している果実は早目に収穫して剥皮を行う。なお、条紋発生が著しい果実は剥皮等を行わず除外する。

3 収穫果実の扱い

- 収穫した果実は早く剥皮等を行うが、一時的に保管する場合はできるだけ涼しい場所に置く。

4 その他

今回の熟度調査をもって今年度の熟度調査は終了。